

私たちは過去の経験などによって決めつけてしまうことがあります。「こうだ」と思っています。しかし、神様はクリスマスの出来事を通して、決めつけで判断するのではない事を教えています。私たちは思い込んでしまいます。今までの悪い経験で「あの人もこの人もこうだから私も」と思っています。大抵の人はマイナスの事しか覚えていません。私たちは辛いことばかりとってしまうものです。ずっと辛かったと思っています。しかしその辛いと思ってしまう事の為、暗闇に光を灯すためにイエス様は来て下さいました。「疲れていませんか？」と言われたら嬉しくないですか？本当は「元気だね！」と言われたほうが、嬉しいはずなのに違います。マイナスで同情し合ってしまう。プラスに考えることが出来なくて、記憶がマイナスに置き換えられてしまう事が多いようです。良い事と悪い事どちらを思い出しますか？だいたいの人が悪い方を思い出すと思います。私たちはマイナスの影響を受け易いものです。私たちはイエス様に出会って輝く事が出来ました。しかし私たちの輝いた人生を嫌う奴がいます。「お前は一人だ」とか「お前は不要だ」と言う、悪い奴を踏み砕く為に、イエス様は十字架にかかって下さいました。イエス様は暗闇を照らす為に、家畜小屋というこの世で一番底辺の所に来て下さいました。イエス様が生まれる事を、天使はマリヤに表れ告げられました。マリヤは男の子を産むという事を語られました。当時未婚で子供が出来たら、大変なことになるしまいました。悪い状況の中でイエス様は誕生されました。イエス様はベツレヘムという場所で生まれました。昔ダビデがいたところです。マリヤとヨセフはナザレという場所に住んでいましたが、祖先の生まれ故郷で住民登録をしなくては行けないのでベツレヘムに向けて旅に出ました。そして宿が全て満員でしたので、家畜小屋に泊まることになりました。そのようなとても悪い状況の中で、イエス様は生まれました。当時は、人と思われない様な人が家畜を飼っていました。人としての底辺です。その所でイエス様は生まれそして飼葉桶に入れられました。ヘロデ王は王様が生まれると言うことを、博士たちから聞いた時に、とても怒りました。そして博士達がイエス様に出会って、ヘロデ王に会わずに帰っていったので、誰がイエス様かわからなかったの、その町の赤子を皆殺しにするように命令が出ました。マリヤたちは奇跡的に、エジプトに逃れることが出来ました。「上を向いて歩こう」という曲があります。博士たちのように希望の星を見上げながら、進んでいこうという曲です。希望を持って神様を見上げて歩めれば、否定的で見放された様に思える人でも大丈夫と言う事が出来ます。マイナスを神様はプラスに変えて下さいます。試練とともに脱出の道も備えて下さっています。『I コリント 10:13あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。』

下を見ていては変わることが出来ません。上を向くことが出来るならば、変わることが出来ます。素晴らしい将来を見ることが出来ます。カマスの水槽にガラスの板を入れて隔てを作ったら、ガラスをとっても向こう側にいきません。過去の経験にとらわれているからです。でも別のカマスを入れたら行ける事がわかるようになり、行くようになります。変化をもたらず物がないと変わらない事を教えています。イエス様は私たちが経験などに縛られているのを解き放つ為に来て下さいました。犬養道子という人がいます。犬養毅首相の孫です。犬養道子はクリスチャンの方です。その方が書いた本の中で、医者も見捨てるほどの少年がいました。親を目の前で殺され希望を持たずにいました。だからとても弱っていました。でもある人がその少年のずっとそばにいて抱きしめていました。この子に愛を流す為にそのようにしました。命懸けの事でした。この難民キャンプで見放された子はこの人の愛の行動で「生きてもいいんだ」と思うことが出来ました。元気になり助ける人になりました。「三つ子の魂百まで」ということわざがあります。でも変わろうとした人は神様にあれば年ではなく、いくつになっても変わることが出来ます。イエス様の光を失ってはいけません。イエス様にあるのなら、もう一度将来があること知ることが出来ます。将来は必ずなる事が来るという事です。私たちは口で告白したとおりになります！信じたとおりになります！しかし、裏切られた時や状況が悪くなると諦めてしまいます。どんな時にもイエス様にあって希望を持ち続けなくては行けません。イエス様は十字架で死んで、3日間でよみがえり変えました。ここに希望があります。

「ランベルト・ノーベンの詩」

神は言われる。 わたしは裸で生まれた。 あなたが自我を脱ぎ捨てるために。  
わたしは貧者に生まれた。 あなたがわたしを唯一の富と見なすために  
わたしは馬小屋で生まれた。 あなたがどんな場所をも聖とするために  
神は言われる わたしは弱者に生まれた。 あなたがわたしを怖がらないように  
わたしは愛のために生まれた。 あなたがわたしの愛を疑わないように  
わたしは夜中に生まれた。 わたしがどんな現実でも照らせることを  
あなたに知ってもらうために。 神は言われる わたしは人間として生まれた  
あなたが神の子となるために。 わたしは被害者に生まれた  
あなたが困難を受け入れるために。 わたしは質素な者に生まれた  
あなたが装飾を捨てるために。 わたしはあなたの中に生まれた  
あなたをとおしあなたと共に。 すべての人を父の家に連れていくために。

神様はどんな現実でも変えることが出来ます。全ての人を父の元に戻す為にイエス様は馬小屋で生まれました。否定的なことを語っていませんか？私が変わることによって周りが変わります。私たちはマイナスを取り去って下さったイエス様の十字架の事を、思い出す必要があります。そのことによって変わる事が出来ます。イエス様にあって希望を持って歩いていきましょう。(要約者：渡辺 将宏)